

# ZENSATO Monthly

全里マンスリー

2020年7月号 VOL127.

2020年7月10日(金)(公財)全国里親会

## ◆全国里親会◆

## 豪雨自然災害被災のお見舞い

この度、熊本南部地区から全国各地において豪雨自然災害が相次ぎ、関係地区ご当地の多くの方々におかれましては大変な災害を被られた報に接し、心よりお見舞い申し上げます。

梅雨前線の活発化によって、まだ災害の可能性がありますのでお気をつけ願います。

また里親家庭の被害について情報を収集中です。

※ 別紙にて再掲

## 理事会、評議員会が開催されました

評議員会、理事会6月13日(土)コロナウイルス対応のため京都市にて開催。評議員会で前年度事業報告、決算報告が当初通り可決。また理事、監事、評議員の任期満了につき改選。続いて行われた理事会で会長、副会長の人事が決定。新評議員、理事、監事は下記の通りです。

【評議員】梅原啓次(近畿地区里親会長・大阪市里親会長・専門里親)、草間吉夫(東北福祉大学特任教授)、鶴飼一晴(社会福祉法人唐池学園理事長)、平田美智子(文教大学・日本体育大学・聖セシリア短期大学非常勤講師)吉田菜穂子(福岡県里親会長・専門里親)

【理事】<会長>河内美舟(社会福祉法人同朋福祉会理事長総合園長・山口県里親会長・専門里親)<副会長>本多洋実(日本体育大学准教授・専門里親)、<副会長>坪井ひとし(川崎あゆみの会長)、岩橋泉(淑徳大学 理事、千葉県里親会長)、岩見照也(熊本県里親協議会長)、河田一郎(中国地区里親会長・岡山市里親会長)、佐々木裕(岩手県里親会長)、高橋守(香川県里親会長、四国地区里親会連合会連絡協議会長・専門里親)

【監事】高橋永郎(宮城県福祉施設士会長)、武藤廣茂(学校法人白鳩学園理事長)

役員人事については現在法務局に登記手続き中。

また前年度事業報告、決算報告については内閣府の承認後、全国里親会ホームページにアップします。

## 厚生労働省への要望を提出しました

6月30日(火)、加藤勝信厚生労働大臣に2021年度予算編成に向けた要望書を提出しました。

主な内容としては、

- ・乳幼児を受け入れる際の里親手当の引き上げ(9万円から。専門里親と同等の14万円へ)
- ・乳幼児を受け入れる場合の育休制度の活用
- ・一時保護委託やショートステイの際にも里親手当の対象とする

- ・子どもが物品を破壊した際に補償する保険
- ・里親身分証明証の発行などを要望として提出しました。

※ 裏面にて参照

## 『LOVE POCKET FUND』より寄付を頂きました

「新しい地図」と日本財団による基金『LOVE POCKET FUND』より、新型コロナ対策として、全国里親会に19,740,000円の寄付を頂きました。この寄付金は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う里親家庭内での感染予防、里親家庭で陽性患者が出た場合の感染拡大防止、並びに親が新型コロナウイルスで養育が困難となった子どもの受け入れ対応などを目的とし、全国約7000カ所の里親家庭に衛生用品(消毒用アルコール、非接触型体温計、防護服等)の配布や、里親の孤立を防ぐためにオンライン環境の整備とオンライン研修や面談の実施を行うため使用されます。

## 定額給付金10万円の取り扱いについて

厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課指導係の考え方として、措置児童に給付される10万円の取り扱いについては、仕様用途の制限はなく、子どもの了解のもと(オンライン授業で必要なタブレット等)使用してよいということです。

## 大会の開催・中止・延期情報

今年度の里親大会開催の中止及び延期については以下の通りです。

- ・北海道大会(北海道地区里親会連絡評議会)令和2年9月12日(土)~13日(日)=中止
- ・山形県大会(東北地区里親連絡協議会)令和2年7月23日(木・祝)~24日(金・祝)=延期
- ・神奈川県大会(関東甲信越静里親協議会)令和2年7月12日(日)=中止
- ・佐賀県大会(九州地区里親連絡協議会)令和2年9月5日(土)~6日(日)=中止

## ◆その他◆

## 東京スター銀行奨学金 第二期生募集開始

NPO 法人ブリッジフォースマイルと株式会社東京スター銀行(東京都港区、代表執行役頭取 CEO 多田 正己)は、社会的養護施設出身者等を対象にした奨学金制度『東京スター銀行奨学金』の第二期生を、6月1日(月)から募集開始しています。対象は、児童養護施設、自立援助ホーム、里親家庭の生活経験がある若者を対象にして、大学等への進学を支援します。詳しくはホームページをご覧ください。

(<https://www.b4s.jp/2020/05/01120000/>)

週刊

# 福祉新聞

THE FUKUSHI SHIMBUN

2020年 7月6日 月曜日発行  
(令和2年)

創刊1955年

発行所 福祉新聞社 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-1 尚友会館1階  
電話 (03) 3581-0431 www.fukushishimbun.co.jp

## 乳児の受け入れ「手当増を」

### 全国里親会 厚労大臣に要望



加藤大臣 (中央) に要望書を渡す  
河内会長 (右から2人目)

本多副会長

地方創生統括本部長  
河村建夫代議士

坪井副会長

公益財団法人全国里親会(河内美府会長)は6月30日、加藤勝信・厚生労働大臣に、2021年度予算編成に向けた要望書を提出した。養育環境の充実に  
向け、乳児などを受け入れる場合の里親手当を専門里親並みに引き上げることなどを求めている。  
現在厚労省は、虐待などを受けた子どもを

支える社会的養育において、5年以内に3歳未満の里親委託率を75%以上とする方針を掲げている。  
目標達成に向け、厚労省は今年度から、養育里親や障害などがある子どもを受け入れる専門里親の手当を増額。これまで2人目以降は半額だった手当も倍増させた。

要望書は里親手当の拡充について評価した上で、さらなる環境整備を求めた。  
特に乳児については24時間体制で養育することから、現在9万円となっている養育里親の手当を専門里親と同等の14万円にするよう要望。また乳幼児を受け入れる場合、育休制度を活用できるよう制度改正も求めている。

さらに、児童虐待の増加で里親への一時保護委託やショートステイのニーズも拡大しているとして、里親手当の対象とすることも要望した。「一時保護が長期になるケースもあるが、委託費は里親手当の額に及ばないのが現状」(全国里親会)という。

このほか、子どもが物品を破損したときなどの経済的損失に対応する際に備え、国として保険による補償を検討することも要望。里親の位置付けを明確にするため、全国統一で「里親身分証明書」を発行することも盛り込まれている。

要請後、河内会長は「里親が安心できる環境をつくるのが子どもにとっても大切だ。全国的に里親を増やすためにもぜひ検討いただきたい」と話している。

(鮫島隆紘)

全里発 第2-44号  
令和2年7月9日

## 豪雨自然災害被災のみなさま

公益財団法人全国里親会  
会長 河内 美舟  
役員 一同

### 豪雨自然災害被災のお見舞い

謹啓 この度、7月4日からの思いもかけない熊本南部地区から全国各地において豪雨自然災害が相次ぎ、関係地区ご当地の多くの方々におかれましては大変な災害を被られた報に接し、衷心よりお見舞い申し上げます。平素は、穏やかな日々の営みにあつて乳幼児からご高齢の皆様が地域住民に見守りの中に支えられ安心してお過ごしのお姿を慮ることでございます。

昨秋、叙勲・旭日双光章ご受章の元熊本県里親会長、西輝男様の祝賀に本年1月10日出席した行き帰りに車窓から眺めた球磨川の景観が豪雨自然災害により激変し、辺り一面無残な景色と化しましたこと、とても痛ましく悲しいことです。不幸にして災難に遭われ、尊い命を失われました方々やそのご家族様や関係者に思わず涙し、憂えるばかりでございます。ご当地の皆様におかれましては、悲惨な状況下にあつてご心労重なる日々に心身共々為す術不定のご様子を察するに余りあるものと存じます。

私たち公益財団法人全国里親会の一員として、社会的養護を必要とするこどもたちや実親に代わってそうしたこども達の養育をさせて頂くものとして、被災なさいました皆様の立場に立って被災からの立ち直りがいち早くできますように念じてやみません。また、新型コロナウイルス感染状況が見えない今日ですが何らかの支援に繋いでいきたいと存じます。

結びに、豪雨自然災害被災の皆様におかれましては、天候不順にならび酷暑の季を迎える今日、これからもご心労多い中にもご自愛なさいますよう念じ申し上げます。 謹白

